

家庭学習の手引き

～保護者用リーフレット～

家庭学習の習慣化で、
子どもたちの「学ぶ力」を
育てましょう!



リーフレットの活用について



佐賀県教育庁教育振興課

保護者の会話の場面から

2



うちの子、全く勉強しないわ。

わが家も同じ・・・
「勉強しなさい」と言っても
なかなかやってくれないよ。



例えば、
・学年に応じて何時間勉強が必要なのか
・どんな内容をすればいいのか
だけでなく、「なぜ、何のために、勉強するのか」ということが
子どもたちに必要ではないかしら。

それなら「家庭学習の手引き～保護者用リーフレット」って
知ってますか。大きなクローバーが目印ですよ。



そういえば、PTAの集まりの際や家庭訪問の際に
そのリーフレットが配布されていることを耳にしたよ。
わが家にもあると思うので一度読んでみようかな。

このリーフレットには
具体的な“声かけ”や“関わり方”について紹介してあるので
読むだけではなく、ご家庭で実際に使ってみてはどうですか？





このリーフレットの特徴については、3つのポイントがあります。

ポイント1

・学習時間や学習の仕方等ではなく、子どもたちにとって将来にわたり必要な「**学ぶ力**」の育成に焦点をあてた内容になっている。

ポイント2

・「**学ぶ力**」の育成のために大切にしてほしいことを「**家庭学習の習慣化 4つのススメ**」として整理し、具体的な声かけや関わり方についての例を掲載している。

ポイント3

・各家庭で行われた声かけや関わり方の例などの詳細を、QRコードやインターネット検索画面から検索できるようになっている。

「学ぶ力」とは？

4



「学ぶ力」とは？



- ・意欲や興味・関心
- ・挑戦する気持ち
- ・粘り強く取り組む姿勢

など

学びに向かう意欲や姿勢



- ・自分で内容や時間を決める
- ・自分で取り組む順序を決める
- ・自分で内容の軽重を判断する

など

学び方

「子どもたちにとって、将来にわたり、自分で考え、判断して、課題を解決したり、いろいろなことに積極的に取り組んだりするために必要な力です。」

なぜ、「学ぶ力」を育てることが必要？

5

これからの社会・・・

～予測不能で変化の激しい、グローバル化した社会を
生き抜くことが必要～

65%



今存在していない
職業に

キャシー・デビッドソン氏
(ニューヨーク市立大学大学院センター教授)

(2011年)

約47%



今後10～20年で
自動化される

マイケル・A・オズボーン氏
(オックスフォード大学准教授)

(2013年)

「予測不能な社会の変化に積極的に向き合い、未知なる問題（課題）の解決に向けて、身に付けた知識や技能、考え方から必要なものを選び出し、他者と協働して解決していくことが大切になります。」



「学ぶ力」を育むためには？

勉強や受験などに必要な学力という狭い意味ではなく・・・

学ぶ力 = 将来にわたり、自分で考え、判断して、課題を解決したり、いろいろなことに積極的に取り組んだりするために必要な力

- 興味・関心
- 挑戦する気持ち
- 粘り強く取り組む姿勢 など

学びに向かう意欲や姿勢



- 自分で内容や時間を決める
- 自分で内容の軽重を判断する
- 自分で取り組む順序を決める など

学び方

家庭学習の習慣化 など

保護者の働きかけ（効果のある声かけや関わり）

「学ぶ力」を育むためには、家庭学習の習慣化などが必要であり、その下支えとして我々保護者の効果のある声かけや関わりが大きな役割を担っています。



◆ 特長① ◆

こつこつと努力
を重ねている！

◆ 特長② ◆

自分で課題を解決しよう
としている！



◆ 特長③ ◆

いろいろな学習に積極的に
取り組んでいる！

「学ぶ力」を身に付けて
いる子どもはこのような
傾向が見られます。



生活のリズムを
ととのえましょう！

学ぶ雰囲気をつ
くりましょう！

小さな「がんばり」を
ほめましょう！

家族の対話を
大切にしましょう！



保護者の声かけや関わりがどのようなものかについて、「家庭学習の習慣化4つのススメ」として4つ葉のクローバーに整理しています。



ここからは、主な活用例について紹介します。

次の日の準備は必ずその日のうちに確実にする。

時間を意識して行動する。

何か手伝ってもらったときは、感謝の言葉をかける。

「今日の学校生活は？」と対話のきっかけをつくる。

4つのススメを参考に、家族で話し合ったことを、4つ葉のクローバーに記入して、家族の目につく冷蔵庫にはってますよ。



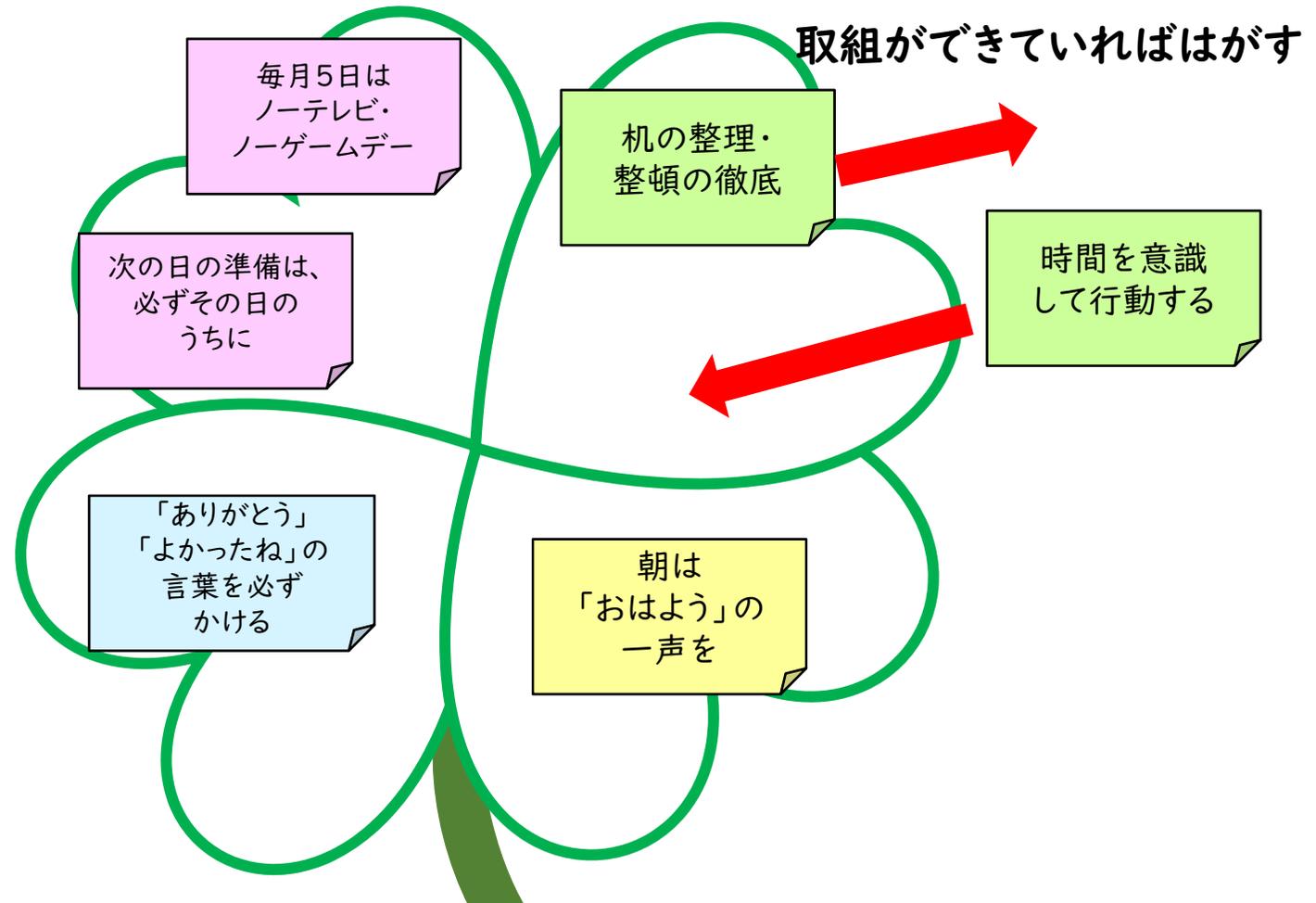


休む時は休む、やるときはやる、メリハリをつけて行動する。



4つの実践をすべて取り組むのはハードルが高かったなので、家族で大切にしたい「学ぶ雰囲気」を選んで記入しています。

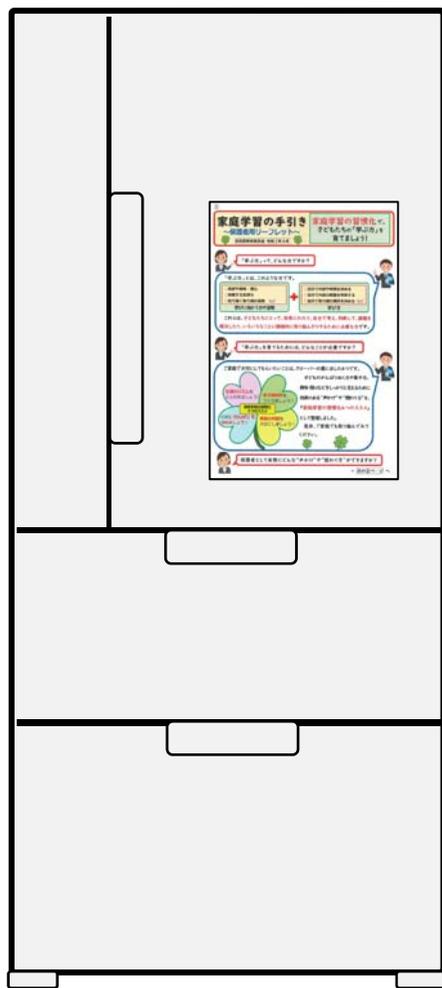
リーフレットの活用例③



一度リーフレットに記入してしまうと後で使いづらくなるので、付せん紙を使いはりつけるようにしています。振り返る際に、決めたことを達成できたときは、その付せん紙をはがし、新たな取組を付せん紙に書いてはりつけてさらにがんばるようにしています。



私は、リーフレットの1ページの「学ぶ力」の部分が大切だと思っているので、常に目につくようにはっています。各家庭で大切だと思うページを選んではってもいいのではないのでしょうか。





主な活用例について紹介しましたが、活用の仕方についてはご家庭の状況によって様々だと思いますので、ご家庭独自の活用例が増えていけばと思います。

また、ホームページにも、リーフレット以外に使用できるワークシートなども掲載しておりますので、状況に応じてご活用ください。

わたしががんばり宣言!

家庭学習の充実に向けて「わたしががんばり宣言!」を決めてみましょう。
「わたしががんばり宣言!」

すてきながんばり宣言、応援しています!

~()家の場合~

家族みんなで一緒に続けましょう!

「家庭学習の習慣化4つのスズメ」の中から御家庭で大切にすることを
選びましょう。(※何項目でも構いません。)

()家の取組

※選んだスズメを具体的に家族で取り組むことを記入しましょう。

()の取組 ()の中には、例えば、お父さん、お母さん、OO(お子様の名前)などをご記入ください。

※家族で決めたことについて個人で取り組むことを記入しましょう。

取組の状況を振り返りましょう。

振り返り	振り返って一言	今後の取組
4.よく取り組めた() 3.まあまあ()		
2.あまり() 1.取り組めなかった()		

わが家のスローガン

家庭学習の習慣化に向けた4つのスズメの充実に向けて
「わが家のスローガン」を決めて、家族の目につく場所にはりましょう。

~()家のスローガン~